

平成 27 年度全国学力・学習状況調査(小学校)

国語 A

主として「知識」に関する問題

平均通過率

市	74.9%
国	[70.0%]
県	(73.8%)

区別定着状況

【話すこと・聞くこと】	59.9%	[53.0%]	(58.0%)
【書くこと】	89.4%	[86.0%]	(88.4%)
【読むこと】	59.5%	[55.2%]	(58.1%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	82.6%	[77.2%]	(81.2%)

※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 4年の漢字を正しく読む(問1一(2))
100.0% [96.0%] (96.8%)
- 5年の漢字を正しく読む(問1一(3))
97.9% [92.5%] (96.0%)
- 5年の漢字を正しく読む(問1一(1))
97.2% [97.5%] (98.3%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える(問5二)
23.2% [19.8%] (22.1%)
- 話の内容に対する聞き方を工夫する(問3)
59.9% [53.0%] (58.0%)
- 4年の漢字を正しく書く(問1二(1))
63.4% [58.4%] (62.8%)

国語 B

主として「活用」に関する問題

平均通過率

市	70.5%
国	[65.4%]
県	(69.7%)

区別定着状況

【話すこと・聞くこと】	設問なし
【書くこと】	66.9% [61.1%] (66.3%)
【読むこと】	74.2% [68.1%] (72.2%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	設問なし

※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 目的に応じ、中心となる語や文を捉える(問2一イ)
90.1% [86.0%] (88.2%)
- 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える(問2二)
83.8% [78.4%] (82.0%)
- 目的に応じ、中心となる語や文を捉える(問2一ア)
75.4% [75.5%] (77.3%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く(問1三)
45.8% [34.7%] (41.4%)
- 文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く(問2三)
54.2% [41.6%] (48.0%)
- 登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える(問3一)
67.6% [60.4%] (63.9%)

結果から考える

○考察

国語A、国語Bともに全国平均を上回っており、これらの学習内容はおおむね定着していると考えられます。

○今後の指導について

今後、国語Aに関しては、新聞のコラムなどの資料を読んで、表現の工夫を捉えさせる指導の充実を図る必要があります。

また、国語Bに関しては、目的や意図に応じ、取材した複数の内容を整理して記事を書かせたり、文章と図などとの関係付けて、自分の考えをまとめさせたりするなどの指導を充実させる必要があります。